

R3.12.24

地域推薦入学生の状況
及び
大学における支援状況

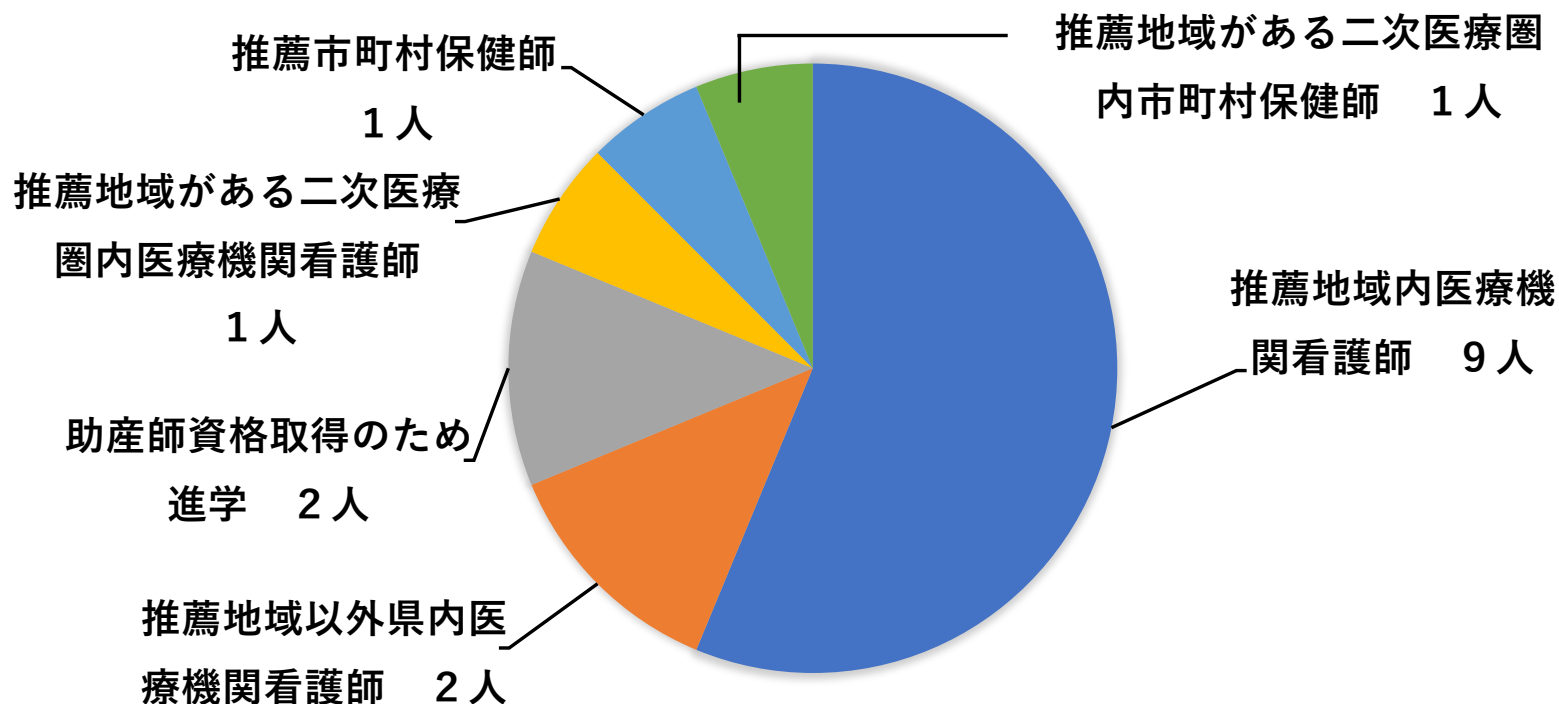
地域推薦入学生支援専門部会
部会長 川村 道子

地域推薦入学実績（2016年～2021年）

推薦市町村	人数	推薦市町村	人数
都城市	5 人	高原町	1 人
延岡市	4 人	高鍋町	1 人
日南市	3 人	新富町	2 人
小林市	2 人	都農町	3 人
日向市	2 人	美郷町	2 人
串間市	2 人	高千穂町	1 人
西都市	3 人		
えびの市	3 人		

* 2016年～2021年の6年間で
14の市町村の推薦を受けて、34名の学生が入学している

地域推薦入学生の卒業後進路（2016年入学～2018年入学）



注）2018年入学生は現段階の見込み

＊ 学生のキャリア志向の変化、推薦地域の採用の状況等により推薦地域内以外の就職先も見られるが、学生、市町村、教員との面談を重ね、合意の上、就職先が決定されている。

大学での支援実績

- 5月、10月：地域推薦入学生支援部会メンバーが地域推薦入学生全員に対して個別面接推薦地域支援者との面談状況や地域活動の状況、学生生活や就職に対する考えを確認
- 7月：学生交流会を実施し、新入生が入学前課題を発表、参加した全学生と意見交換企画、実施
- 4～6月：卒業年度にあたる4年生に対して、推薦地域へ確実に就職できるよう、推薦地域担当者との面会や就職先の候補となっている医療関連施設へのインターンシップや病院見学のセッティング等のサポート

支援に関する展望

■ 高校卒業までの期間に推薦地域への愛着を醸成する取り組みとして推薦地域の特徴を捉えたうえで課題を認識するという入学前課題を課しているが、入学前課題で取り組んだ内容を、学内でプレゼンテーションする機会を設け、他の地域との共通や相違を考え、推薦地域に必要な活動を創造できるよう支援する

■ 推薦地域の支援者、出身高校、保護者、推薦地域で活躍する先輩看護職者、当該学生のネットワークを強化し、推移地域への愛着と地元でリーダー看護職者となっていくことの自覚を育む取り組みを行う

課題

【地域推薦入試制度の目的】

看護職者の確保に特別の対策が必要な市町村との連携のもと、推薦を受けた地域の看護職に就き、地域住民の健康を担い、将来リーダー的役割を果たすことができる優れた看護職者の育成と確保を目指す

- 地域医療に関心のある学生をどのように見出していくか
- 支援の中で地域医療への関心や地域のリーダーとして役立つ資質をどのように育んでいくか
- 地域推薦入試制度は出口（就職）を見越した制度。4年後の就職状況を見越して支援していくことの難しさ
大学の支援だけでは困難。市町村の方々との密な連携をぜひこれからもお願いしたい